



YELL

那須教育事務所
ふれあい学習課

〒324-0041

大田原市本町2-2828-4

Tel:0287(23)2177(代)



子どもたちの「生きる力」の育成のために、 学校、家庭、地域社会が連携・協働する

令和5年9月4日(月)に、那須地区地域連携教員研修 並びに
社会教育主事有資格者ステップアップ研修 I 兼 社会教育主事講習
事後研修を開催いたしました。各学校の地域連携教員をはじめ、社
会教育主事有資格者や本年度社会教育主事講習受講者の皆様に御参加いただきました。



志々田 まなみ 氏

研修前半は、国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部総括研究官の志々田まなみ氏に「地域
と学校の連携・協働の在り方」を演題として御講話いただきました。

子どもたちに多様な他者と出会うことや、学校が地域と連携・協働する際、教育目標の達成のために必要な活動であるかという視点をもつことなどについてお話しいただきました。地域
とともにある学校づくりにおいて、スクラップ・アンド・ビルドで活動を精査し、学校の役割と
地域の役割を明確にすることで、効果的かつ効率的な取組が叶うのではないかと考えられます。

研修後半は、「より効果的な地域連携活動となるためのひと工夫」をテーマとして、経験年数
や市町、校種等を越えて情報交換をしていただきました。

研修後に、参加された先生方から、「地域学校協働活動とは何か、コミュニティ・スクールと
は何かについて考えることができた。言葉のイメージで活動するのではなく、それぞれの目的を
把握した上で行動していかななくてはいけない。」「『地域の人たちとは、地域在住者だけでなく、



地域外の人であっても学校に関心のある人たちのことも指す』との言葉で地域の捉え方が広がった。」

「『教育目標にあっているか、で判断する』という言葉
を原点とし、何でも地域連携すればよいのではなく、
地域の方と共有した教育目標の達成のための活動であ
るかを意識しながら、地域連携教員として活動した
い。」などの感想をいただきました。

未来を担う子どもたちの「生きる力」の育成のために、学校、家庭、地域社会が連携・協働す
ることの必要性と重要性を考える貴重な機会となったのではないのでしょうか。

令和5年度 地域連携教員研修 (主催：総合教育センター) の開催について

地域連携教員としての資質向上を図る研修として、各小・中・義務教育学校及び県立学校の地域連
携教員、市町行政職員を対象とする研修を以下のとおり開催します。

日時・場所：令和5年11月24日(金) 9:30~16:00・総合教育センター

内容：説明「地域連携教員の果たすべき役割とは」

講話「学校と地域の連携・協働における地域連携教員の関わり方」

講師：大正大学 教授 浦崎 太郎 氏

パネルディスカッション「地域の教育資源を生かした教育活動の充実を目指して」

情報交換・協議「今後の地域連携教員としての取組を考える」

※ 詳細は、開催要項をご覧ください。なお、本研修は希望研修です。



開 催 要 項